

さとし

議会だより

No.90

2017.10.31



岡山県 里庄町議会



おどるの たのしい〜!(かすみ保育園)

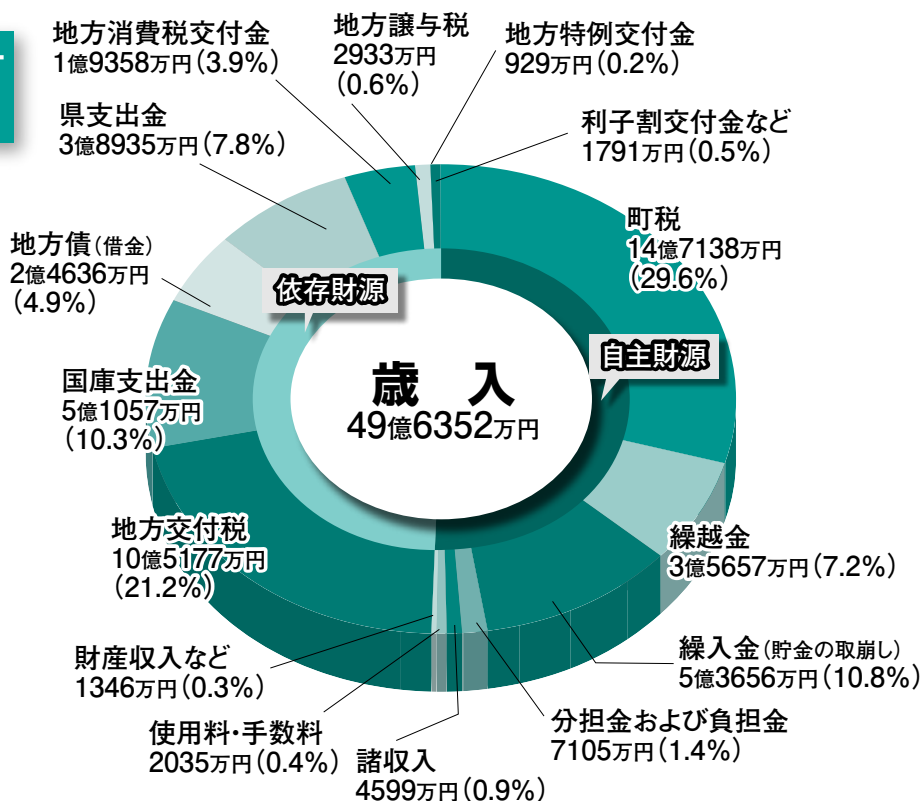
- 28年度決算 一般会計は賛成多数で認定 (2)
- 基金取崩し額、削減の努力は (総括質疑) (5)
- 岩村交差点の工事総額は (補正予算) (8)
- 町政を問う! (7人が登壇) (12)
- シリーズ “地域の子どもたち” (堂迫子供会) (20)

定例会

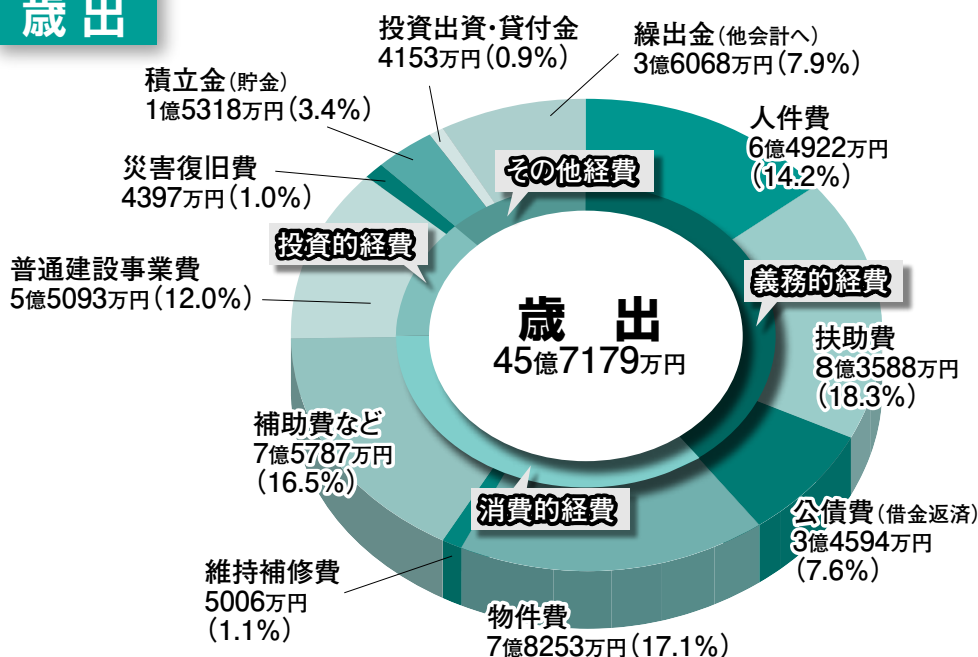
成果を認定!

その他会計、全会一致

普通会計 歳入



普通会計 歳出



平成29年第4回里庄町議会定例会は、9月4日から15日までの会期で開かれました。議案は平成28年度会計決算の認定9件、平成29年度の補正予算7件、道路線の廃止2件、人事案件2件、報告1件、議員からの発議2件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

なお、一般質問では7人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。



全ての会計の

一般会計、賛成多数 賛成 5 : 4 反対



ここが反対！

太陽光発電システムは無駄

岡本雅道議員

太陽光発電システムを東・西小学校、中学校、図書館に設置した。主目的は非常用の防災用のバッテリーを使うためとはいえ、1億2800万円もかけて、たかだか15キロワットぐらいの蓄電池を充電するために発電するのは本当に無駄。

この省エネシステムが十二分に発揮されていないのならば、この事業は失敗。

練習の成果を（操法訓練大会）

ここが反対！

松食い虫防除はやめるべき

高田卓司議員

松くい虫の防除をいつまでも続けている。いち早くやめるべき。

金がないと言いながら繰越金が3億2000万円も生じている。

マコモタケは、国の交付金で販売には多額のお金を使っているが、生産に対しての努力が足りない。

年度途中で予算を補正しておきながら、追加補正額以上の不用額を生じさせている。

ここが反対！

英語指導者は国からの派遣に

仁科英磨議員

小・中学校の英語指導者は経費のかからない国からの派遣に切りかえるべき。

中学生の派遣事業は、あまりにも豪華な内容。教育の機会均等という点でも問題。

地域創生加速化交付金で、本来交付対象になり得る220万円余りが、町の単独の支出になっている。また、1100万円以上かけた市場調査とブランド化プランの作成は、内容のある成果が得られていない。

平成28年度の 主な事業内容

- ・里庄駅西横断歩道橋の修繕
- ・避難時用太陽光発電設備他
(東西小・中学校・図書館)
- ・6月の大雨災害の復旧工事
- ・定住促進事業
- ・マコモタケのブランド化事業
(地方創生加速化交付金)
- ・住民票等のコンビニ交付システム
- ・高齢者タクシー料金助成
- ・東小学校学童保育 2号棟建設等
- ・小児医療費助成(中学3年生まで無料)



新設の東小学校学童保育 2号棟



未来の横綱？ まけるもんか～～！

- ・各種健診(65歳以上無料)
- ・乳幼児検診
- ・不妊治療助成
- ・資源ゴミ専用収集庫設置
(町役場・東公民館・仁科会館)
- ・手の際の農道整備
- ・学校に生活支援員を継続配置
- ・里ちゃん寺子屋を毎月開催など

町の借金と貯金(平成28年度の状況)

平成28年度起債額(借金)
3億5116万円

一般会計の基金(貯金総額)
23億855万円

・一般会計

2億4636万円

・下水道事業会計

1億480万円

平成28年度公債費(元金償還金)
4億7224万円

・一般会計

3億702万円

・下水道事業会計

2418万円

・下水道事業会計

1億4104万円

平成28年度末起債残高※
70億5342万円

・一般会計

34億946万円

・水道事業会計

1億1458万円

・下水道事業会計

35億2938万円

※元金償還金のうち、
概算41億円が地方交
付税に算入される見
込み。

財政調整基金

6億708万円

いきいき里庄基金

1億円

地域振興基金

5847万円

開発基金

5億1511万円

減債基金

1億5197万円

ふるさと保全基金

6600万円

文化振興基金

4億4064万円

スポーツ振興基金

1億100万円

教育施設整備改修基金

1億479万円

土地開発基金

1億302万円

環境整美基金

5039万円

古山基金

1008万円

端数処理をしている
ため、合計額が一致
しない場合がある。

決算

平成28年度会計決算の総括質疑は5人が行い、その後予算決算委員会に付託され、審査を行いました。

総括質疑

基金取崩額、削減の努力は

眞野議員 ①単年度収支額は、いくらか。

②実質単年度収支額は、いくらか。

③単年度で入ったお金で全ての事業はできたか。

④基金の取り崩し額と基金残高の推移は。

⑤基金を取り崩している額を減らす努力はしたか。

⑥2億4636万円を借金して使っているが、結果、どうなったのか。

⑦公共下水道事業会計で、

預金基金、余剰金、借金の状況と、今後の推移は。

⑧公有財産の土地建物は、どこを所有し、目的は。

⑨実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率の推移は。

⑩基金が減ってきたが、町長としての考えは。

⑪「公共下水道事業によって、良好な環境の受益は全町民が受ける。一般会計のお金は、使ってもいい。」と聞いた。これはどういうことか。

⑫下水道事業は本当に欠くことができない事業なのか。

⑬汚水処理費用等の情報はほとんど出して欲しいが、考えは。

総務課長 ①3589万円が単年度収支額。

②実質単年度収支は、赤字。今後、歳出を抑え、基金を積めるように、努力したい。

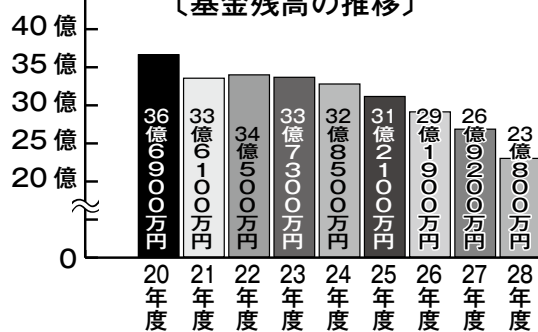
③結果的に赤字。不足分は基金を取り崩した。

④グラフの通り

⑤厳しい財政状況であるということとはわかってい

る。町独自で実施している施策の縮小、廃止も視野に入れ、徹底した歳出削減を行い、身の丈に合った施策を行う。

〔基金残高の推移〕



⑥28年度末の起債残高、34億1000万円。借金は減っている。

⑧町内各所に点在している。有効活用、利活用ができる土地については、今後対応を考えたい。

⑨実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率は、横ばいもしくは改善している。

将来負担比率については、悪化している状況。原因は基金の減少。

上下水道課長 ⑦平成28年度時点の借金は、35億2937万円、預金は1億2962万円。

交付税算入を除いた実質の一般会計持ち出し分は、平成28年度で約1億5000万円、平成42年度の1億7000万円まで増加。その後は徐々に減少。

⑪下水道の目的は、生活環境の改善と公共用水域の水質保全である。

⑬まずは幹線を東小学校から北に向けて、ザグザグの辺までを整備してい

く。

区域の拡大は、アンケート調査をし、地域の意向を聞いて整備をしたい。

使用料単価は、随時検討しながら考えていきたい。

町長 ⑩⑫一番の要因は公共下水をやったこと。全町的な考え方で、議会にも了解を得た。それ以後は、多くの一般財源を入れるということ、二三年前に、事業費を半分にした。公共下水は歯を食いしばってやる。こういう覚悟でやってきた。

必要な時に、適切に使う、それが基金のあり方。私自身は、大きく無駄遣いをしたとは思っていない。

これから、里庄の将来を考え、財政運営は慎重にやりたい。皆さんにも協力をお願いする。

来年度の方針とか施策については、新しいリーダーが決める。

マコモのブランド化は

岡本議員 ①まこもたけのブランド化の確立はできたか。

成分分析の結果は。

②太陽光発電設備の運用状況と節電状況等は。

③里庄東西駐車場の自動化を検討しないのか。

企画商工課長 ①ブランド構築推進協議会を立ち上げ、専門家のアドバイスを受け、具体的な方向性を定め、ブランド化プランをつくった。

29年度から3年間で確立を進める。
実・葉・お茶の分析を



里庄駅前駐車場

した。効能等を、現在大
学に問い合わせしている。

総務課長

②避難所運営に必要となる最低限の電力を蓄電池に充電し、余剰となる電力を施設へ供給している。

5カ月約26万円の経費節減。

③自動化すると、経費節減、収入アップが期待される。前向きに研究、検討して判断する。

町長

②蓄電池に充電後、全体の施設に流れ、利用している。

財政、どう思うか

佐藤議員 ①経常収支比率88・8%をどう考えるか。

②特別会計は資金不足がないと報告があったが、基金を食い潰している現状は、健全な財政とはいえない。どう思うか。

③高齢者比率が高くなり、下水道事業を広げていくには限界がある。どのあたりまでの地域に広げていくのか。

総務課長 ①歳入の大幅な増額は困難、歳出の人員費・扶助費・公債費では縮減が容易でない状況だが、改善するよう努める。

上下水道課長

②一般会計からの繰り入れをしなければ赤字になる。負担額も年々増加。一般会計が健全でなければ、下水道事業は進むことはできない。

今後、整備手法の見直しや検討を行い、接続率の向上や収納対策を考えたい。

③5年ごとに認可区域の検討を行っており、事業費に見合うだけの認可拡大を検討する。接続要望のある地区については、アンケート調査等を実施した上で、認可区域に含めるかどうか検討する。

繰入金を減額する考えは

高田議員 ①3億2000万円の繰越金が出てい

る。繰入金を減額する考えはなかったのか。



芋掘り体験 よっしゃあ、採ったどお!!(里東小学校)

予算決算委員会

予算審査

予算決算委員会に付託された平成28年度の会計決算の認定および、事業会計剰余金の処分および決算の認定の9議案と平成29年度の補正予算7議案は、関係当局者の説明

を聴取しながら慎重に審査を行いました。
その結果、おおむね予算が議決した趣旨と目的に従い適正に執行されたと認め、すべての議案を認定しました。

財政悪化の対策は

仁科英議員

①実質単年度収支額に全ての基金を崩したものを考慮したら、

いくらの赤字なのか。

②水道事業と下水道事業を入れた基金総額と起債総額は。

③それに対する交付税算入は、いくらあるのか。

④全体の貯金から借金を引いた最終の帳尻はどうなるのか。また平成20年度と前年度末ではどうな

②下水道工事は開発基金がなくなると、どこから出すのか。

総務課長 ①行政コストの経費削減に努めた結果、委員会です明する。

上下水道課長 ②今後、

次の5カ年計画の策定の際には、基金の状況などを考慮して、慎重に計画していきたい。

副町長 ①繰越金の確定

は、出納閉鎖後。3月末

まで執行未定の医療費等があり、減額できない部分がある。不要なものは

補正予算等で減額するよう指摘があり、その後12

月には、各課に今後の執行見込みを出し、額の大

きいものは減額補正をしている。

適正な予算執行ができるよう取り組んでいる。

っているのか。

⑤財政状況の悪化で、対策を立ててくはないけな

いが、その考えは。

⑥特別交付税が24%増えている。災害関連が入っ

ているか。町からの要望は、いくら認められたか。

⑦実情を県に伝えたのか。

総務課長

①マイナス3億4748万3000円

となる。

②基金総額は23億800



ポーズ、きめっ！（かすみ保育園）

⑦担当者が詳細な資料を作り積極的かつ熱心に説明した。

その他の質疑（仁科英議員）

・地域ブランド確立事業はなぜ、2300万円に減ったのか。

・ブランド構築プラン作成は、誰に委託して、どのような結果なのか。

・産業連関表は、どのような結果なのか。

・まこもの売上額は、今までで、いくらになるのか。

・保育園施設給付費事業で、国と県と町の義務負担額と単費上乗せ負担額は、それぞれいくらになるのか。

・小児医療費助成事業費の単独町費が、どのように伸びてきているか。

・科学振興仁科財団の海外派遣費600万円が、二百数十万円になった

のか。

・町からの要求は23項目。認められた数は不明。

平成28年度 会計別決算状況

会計区分		歳入	歳出	差引
一般会計		49億6905万円	45億7757万円	3億9148万円
特別会計	国民健康保険	14億4120万円	13億1989万円	1億2131万円
	育英奨学資金給与	25万円	0万円	25万円
	介護老人保健施設	4056万円	3887万円	169万円
	介護保険	9億2267万円	9億1057万円	1210万円
	後期高齢者医療	1億4591万円	1億4588万円	3万円
町営墓		224万円	224万円	0万円
公営企業会計		収入	支出	差引
水道事業	収益的	2億9837万円	2億7145万円	2692万円
	資本的	1430万円	6981万円	△5551万円
公共下水道事業	収益的	3億3794万円	2億9640万円	4154万円
	資本的	2億2083万円	3億104万円	△8021万円

補正

平成29年度補正予算の総括質疑は3人が行い、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。
その結果、補正予算7議案は全会一致で原案が可決されました。

一般会計の主な事業

公会堂整備事業費 浅口市大簡塾負担金
補助金 95万円 68万円

公会堂の放送設備や冷暖房設備の修繕要望件数の増加により、整備事業費補助金を追加します。

学校に行きたい気持ちがあっても、不安や緊張で、登校できにくい児童生徒が利用するためのものです。

岩村新設交差点

1100万円

町道里見674号線関連工事として、民地との取合部分や舗装等の工事費を、追加補正します。

洗面設備新設

108万円

中央公民館2階児童室に洗面設備を新設します。児童室内に手洗い場が無く、コップ等の洗浄や手洗いが出来ないため不便でした。

総括質疑

一般会計

有害鳥獣の駆除班は

岡村議員 ①公会堂の整備件数と内容は、

冷暖房機器のようなものは、要望すれば町で修繕費を出してくれるのか。

②猟友会は、何人登録していて、駆除班は何人か。

駆除隊員の実動や活動内容、駆除費用はいくらか。

町内の有害鳥獣による被害状況は、

有害被害対策実施隊の具体的な計画は、

企画商工課長 ①8月までに4分館から申請及び相談を受け、当初予算に達する見込み。今後の緊急対応分として補正した。

修繕は、屋根・壁など分館によってさまざま。補助金交付要綱に基づき交付している。

農林建設課参事 ②駆除班は11名から、13名になる。

駆除班の日額を1000円から3000円に上げるための補正。芋など若干の被害が出ている。

目撃情報があれば畏を設置してもらう。

9月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計	43億7012万円	(1億6675万円)
国民健康保険特別	13億9679万円	(5006万円)
介護老人保健施設特別	3990万円	(853万円)
介護保険特別	9億9589万円	(1221万円)
後期高齢者医療特別	1億4781万円	(△6万円)
水道事業会計		
収益的收入	2億7819万円	(1万円)
収益の支出	2億6521万円	(9万円)
資本的收入	1877万円	(△15万円)
資本の支出	9158万円	(8万円)
公共下水道事業会計		
収益的收入	3億4803万円	(11万円)
収益の支出	3億361万円	(11万円)
資本的收入	3億5920万円	(120万円)
資本の支出	5億969万円	(120万円)

人事

固定資産評価審査委員会委員

里庄町大字新庄

岡 雅文氏

教育委員会委員

里庄町大字里見

宮崎 勇次氏

岩村交差点、工事総額は

仁科英議員

① 岩村交差点の改修工事は総額いくらで、県・町の負担はいくらか。

補正はなぜ早く上げなかったのか。

② 倉庫業者の負担は。

③ 工事は全て終わるか。

④ 児童室内に洗面設備を設置する内訳は。

誰が何に使うのか。

農林建設課長

① 約1億

2600万円が町の総事業費。交差点改良の工事費1800万円が県の負担。

交差点南の倉庫の所有

者との調整に時間がかかった。

② 県道が高くなり雨水が倉庫に流れ込むような勾配になった。そのため、水路を設置せざるを得なくなった。

町費で対応する。

③ 交差点の北側の残地部分は、状況を確認しながら対応をしていきたい。

健康福祉課長

④ 洗面化粧台12万円、給水管等の材料費と工事費96万円。材料代と工事費が約半分以上。

ずつ。大人が手洗する。

なぜ財政調整基金に積むのか

高田議員

① ほかの基金も減っているのに、なぜ使い勝手がいい財政調整基金だけに積むのか。

② 5年、7年で財政が破綻するのがわかっていて、人件費、物件費、維持管理費、子供の医療費の補



岩村交差点の残工事箇所

助のカットを考えないといけないのでは。

③ 繰越金の予算当初8000万。終わった時点で2億3億も繰り越すのか。

④ いっ繰入金を入れるのか。

総務課長

① 基金の減り方、これからの財源を考慮しながらやっている。今年度は、そういった基金へ積みめるよう努力しているつもり。

② 財政が厳しいことは職

員も認識しており、経費節減に取り組んだ結果繰越金が発生したと考えてもらいたい。

自主財源の確保、経費節減を図り財政の健全化に努力する。

③ いろんな事業があるが、できるだけ繰入金を減し歳入歳出を調整する努力をする。

④ 12と3月の補正で減額するが、それでも余剰金が出る。

町道路線の廃止

委員会に付託された町道路線の廃止の2議案を審議するため、委員会を9月6日に開催し、現地調査を行い、担当課から説明を受けた後、慎重に審議を行いました。

津江地区の町道は部分的に廃止し、払い下げを

していたため、道路線の整理をするものです。また、大原東地区の町道は既に個人宅の侵入路の一部でした。

採決の結果、2議案とも問題はないと判断し、全会一致で認定すべきであると決しました。



津江地区

一 陳 情

総務文教委員会に付託された意見書採択を求める陳情 2 件は、9 月 6 日の委員会で慎重に審議された後、本会議ではかられました。

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」を求める

審査結果（総務文教委員会）

町内に林業従事者も組織もない。国の財源でやるべきことで、町民に新たな負担を課すべきでないとの意見から全会一致で不採択すべきとの報告でした。

本会議採決結果

9 月 15 日の本会議では、委員長の報告を受けたあと全会一致で不採択となりました。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請

審査結果（総務文教委員会）

子どもたちの教育環境改善のために教職員定数改善を推進することは賛成。また、三位一体改革で引き下げられた義務教育費国庫負担制度の負担率を復元することは必要との意見から、全会一致で採択すべきとの報告でした。

本会議採決結果

9 月 15 日の本会議では、委員長の報告を受けたあと、全会一致で採択しました。

一 発 議

国に提出

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に基づく補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

〈要 旨〉

この特別措置を受けながら市町村では、地域経済の活性化や安全で安心な地域づくりに必要な道路整備を推進している。しかし、補助率等の嵩上げ措置が平成29年度末をもって期限を迎える。今後も道路整備財源を安定的に確保する必要があることから、平成30年度以降も補助率等の嵩上げ措置が継続されるとともに、必要な道路には補助率等を拡充されるよう要望する。

国に提出

教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

〈要 旨〉

地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう次の措置を講じるよう強く要請する。

- ①計画的な教職員定数改善を推進すること。
- ②教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名		議員名									議決結果
		高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	
9月定例会	議案第41号	里庄町個人情報保護条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第42号	平成29年度里庄町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第43号	平成29年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第44号	平成29年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第45号	平成29年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第46号	平成29年度里庄町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第47号	平成29年度里庄町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第48号	平成29年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第49号	平成28年度里庄町一般会計決算の認定について	×	×	×	○	○	×	○	○	認定
	議案第50号	平成28年度里庄町国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第51号	平成28年度里庄町介護老人保健施設特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第52号	平成28年度里庄町育英奨学資金給与特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第53号	平成28年度里庄町介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第54号	平成28年度里庄町後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第55号	平成28年度里庄町営墓地特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第56号	平成28年度里庄町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第57号	平成28年度里庄町公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第58号	里庄町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第59号	里庄町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第60号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第61号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	報告第5号	平成28年度里庄町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	陳情第2号	全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
	陳情第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	発議第2号	「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に基づく補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議第3号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

一般質問

町政を問う

7人の議員が登壇して質問!

小野 光章 議員……………13P

- ① 大内町長の出馬の考えは
- ② 里庄駅北県道の速度制限は

岡村咲津紀 議員……………14P

- ① 可燃ごみ減量化への取り組みの必要性は

岡本 雅道 議員……………15P

- ① 町長に地元企業育成の計画と実績は
- ② マコモタケの生産状況等は

高田 卓司 議員……………16P

- ① 議会答弁の重みは
- ② 道路沿いの樹木の管理を

仁科 英磨 議員……………17P

- ① 美しい森とフロイデの利用促進策
- ② 229号線への信号機の設置等

佐藤 耕三 議員……………18P

- ① JA跡地の利用どうなっているのか
- ② 県道里庄地頭上線の交差点改良は
- ③ 防災意識の向上を

仁科千鶴子 議員……………19P

- ① 公園の管理整備は
- ② 資源ごみのリサイクルを

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

小野 光章 議員



決断力、行動力を町民の為に

町長／町長選には立候補しない

問

町長は、運動公園の事業、里見229号線の延伸事業を、

着任早々に受け継ぎ、ともに多くの困難を乗り越え、見事に完成をさせた。

運動公園は、スポーツに散歩、また子ども連れの憩いの場として多くの人々に利用されている。

また、里見229号線は、県道とつながったことで、町民のみならず多くの人々が利用し、利便性を実感している。

また中高生の通学等における安全性は、大幅に高めることができている。

町長のその決断力、行動力をさらに町民のために発揮して貰いたいと感じている。

改選に向けて、町長の考えを問う。

町長

町民の負託をうけ、10年間、町政を任されてきた。12年前、単独自立を主張し、町長に当選した。今は、あの選択でよかったと思



つばきの丘運動公園

っている。

人口も少しではあるが増加している。

時代は、科学分野、工業技術、国際化で急速に変化し、進歩している。柔軟な頭脳と自由な発想がないと、変化、進歩に対応できない。

総合的に判断し、次の時代を担う新しいリーダーに町政をお願いしたい。次の町長選挙には、立候補しない。

町長をやめた後は、一町民として町政を後押ししたい。

県道園井・里庄線の制限速度変更

農林建設課長／沿線住民の意見を

問

駅北側の県道は、現在、制限速度が時速40km以下になっている。県道ができて以来のもの。

現在では歩道も整備され、歩行者の安全性は確保されている。

あの道路を時速40km以下で走っている車は全く見当たらない。これが実態だ。

現状の道路状況、交通状況にあわせて、制限速度を、せめて時速50km以下に引き上げるべきだと感じているが、その方向で働きかけをして貰えるかどうか、返答を。

農林建設課長

指摘のとおり、駅北側の県道園井里庄線は、以前から制限速度40kmで規制されて

いるが、直線部分が長く、見通しもよいので、スピードが出やすい路線となっている。

町から制限速度を上げる要望をする場合は、その道路の構造や事故の状

況などを踏まえ、慎重に検討する必要があると考えるので、車での利用者だけではなく、沿線住民の意見も聞き、玉島警察署等に相談しながら、今後の対応を考えたいと思う。

警察にも、一度相談をした。

一番何がいいかを考えていきたい。その後、関係部署に働きかけはする。



県道園井・里庄線

ごみ処理の経費は

町民課長／1億7847万9005円



岡村咲津紀 議員

問

可燃ごみを処理するには、多額の費用がかかる。町のごみの排出状況やごみ処理の経費は。

町民課長

ごみの排出状況は、平成28年度の家庭ごみ1人1日当たりの平均排出量は、速報値で平成25年度と比較して6・1%減少している。

新年度からごみ袋の形状変更、粗大ごみの有料化の流れは、古いごみ袋はいつまで使えるのか。循環型社会の形成に向け、4Rにどのように取り組んできたのか。古着等の不要品がストックできる施設リサイクルバンクの設置は。

各分館の環境衛生委員さんの協力を得ながら町との連携で減量施策を行っているのか。生ごみ処理機の補助金の利用状況は。

全国的な赤字を解消したい。全国平均で、1ℓ当たり1円の価格設定であり、今後は全国平均と同程度に価格を変更する必要があると考えている。45ℓの袋では現在の約4倍となる。一度に値上げをすると町民の負担が大きいため、2回に分けて値上げを実施し、1回目の今回は45ℓの袋は、1枚22・5円。

ごみ袋の形状の変更は、以前より要望が多く手提げ袋タイプに変更することにより、これまで製造価格が販売価格を上回り、毎年、約300万円の赤字が発生していた。適正な販売価格に改定し、恒

自転車等の大型ごみをごみ処理施設へ直接搬入できない高齢者等が増加する状況に配慮して、有料による粗大ごみの戸別収集制度を導入することにした。処理施設に直接持ち込むのは、無料で引き取る。

古いごみ袋の使用は一定の期間を設けたい。4Rの1つ目は、6月と11月に広報や街頭啓発活動を実施し、町民団体や事業者と連携して、マイバッグ持参を推進し、レジ袋の使用削減を図っている。2つ目は、毎年広報紙に生ごみの減量方法の記事を掲載しているほか、分館や各種団体を対象としたごみ減量化出

粗大ごみの有料化は、小型の家電製品およびたす、食器棚等の家具類、

前講座を実施している。3つ目は、ごみ減量化出前講座で、使える物はごみに出さずに、リサイクルショップやフリーマーケットを活用し、必要な方に再び使ってもらうことを推奨している。4つ目は、町内3カ所にストックヤードを設置し、分別収集日以外でも資源ごみを出せるようにしている。小型家電の改修、リサイクル事業も実施している。4Rの取り組みは、町が目指す循環型社会の形成において積極的に実践する必要がある。不要品を販売、譲渡す



里庄清掃工場

ることは保管スペースの問題があり、実施は難しい。環境衛生協議会委員さんの力をかり、地域住民から町の環境行政施策について意見を集約してもらい、ごみ減量化リサイクル推進の事業を強化していきたい。

補助金交付基数は、昨年度までの累計でコンポスト型容器は605基。電気式生ごみ処理機器は199基である。壊れたときは、それぞれ耐用年数を超えれば再度申請ができる。

岡本 雅道 議員



企業育成計画と実績は

副町長／具体的な策定はしていない

問

①非常に厳しい財政状況、税収を増やしていくことを考えなければならぬ。行政組に配送する書類は郵便局があるが宅配業者を利用。発送の本町の取り組みである「人・町・仕事」地元企業の育成についてどのような計画があったのか。実績はどうか。

②安くなかったら使ってもらえない。少々高くても地元企業育成のためお金を使うと、地元企業から税収が上がる。よその安いところで買っても町の財政は潤わない。商工会を通じて融資云々ではなく、具体的に町は過去にどのような企業育成をしたのか。

③企業育成の将来計画および、企業誘致のビジョンは。

副町長

①町内で調達できるものがあれば町内で調達するが、価格を考えた上で決めている。地元企業が発展する

ことは地域経済に重要と考えているが、個別具体的な計画は策定していない。事業規模の大きい企業には町長が直接訪問をし、要望を聞き水路、道路、駐車場等の敷地の確保など必要な支援をしている。また、商工会と連携を図り融資制度等を通じて企業の規模に応じた育成支援策の活用をしてもらっている。

③企業訪問を通じて、行政ができることは協力していく。企業誘致のビジョンだが、町には誘致できる場所がない。企業が持っている土地に工場立地をお願いするようなことで取り組んでいる。

課長 ②融資について、業対策資金保証融資制度は、資金調達が困難な中小企業者の信用力、担保力の不足を補うため、岡山県信用保証協会が債務の保証を行う。次に、里庄町中小企業対策設備資

課長

業対策資金保証融資制度は、資金調達が困難な中小企業者の信用力、担保力の不足を補うため、岡山県信用保証協会が債務の保証を行う。次に、里庄町中小企業対策設備資

町長

後継者は実際いない。マコモタケは荒廃地が広がったから環境の問題でスタートした。農道を3年計画で

農林建設課 参事 生産者は企業が2、団体が1、個人が4名程度。手の際地区の圃場が減り、作付面積は28年度が2・3ha、29年度は2・0haに減った。生産額は2・3トンの増で113万円の増額となる見込み。

問

生産者、作付面積、生産額等の推移は。また、将来性は。

マコモタケの生産状況は

農林建設課参事／作付け2・3haから2・0haに減

金利子補給金は、設備資金に対して借入額1000万円までの利子補給を

行うもので、商工会を通じて1月下旬に申請が上がり、それを町から補給し

ている。

作ったが、連作障害や水利の問題でうまくできなかった。一番大切な後継者、定年になった人は体力的にためらっている。

補助金をもらってやるというのは無理があり長続きしない。町全体で少しでも協力をお願いしたい。



まこもたけ販売中(里庄直売所 里ちゃん)

議会答弁の重みは

町長／大変重い



高田 卓司 議員

問

議会答弁の重みについて尋ねる。今までの答弁には、「できない」のほか、「検討する」「考える」「やる」というのがあった。しかし、この場が終わったらそれっきりになる。回答があつてしかるべきでは。

同僚議員の発言にすぐ対応したものもある。非常に不公平であり、町民にとつても不公平。

何年も前からこの場で、小学校にエアコンをつけるよう、何人もの議員が言ったが、できないということだった。しかし、今年になり、全部つけるようになった。なぜ変わったか説明してほしい。里庄駅の西の県道へ出

総務課長

全員協議会や委員会などの場で、可能な限りきめ細かな報告をするよう心がけている。議会の質問は、多岐にわたり、内容もさまざまであるため、全てできているとはいえない現状。過去の答弁の経過は、議会の内外を問わず質問してもらえば答え

る。町としては、質問者によつて対応の方法を変えることはしていない。図書館の図書購入もできて以来、毎年650万円分を買い、15万冊にふえた。去年から減つたが、これ以上買う必要があるのか。

229号線の速度制限を50kmに決め、6月にはと、3月議会で言った。しかし、玉島警察署長が知らないことが、なぜ答えられたのか。その場しのぎの答弁では。

町長

議会での答弁は大変重い。

警察の件は、理解の違い。年度内にはやる。私の誤解があつたので、この場で詫げる。

問

野球場へ行く道を上つていくと、周りの山の木が伸びてきて、大型車両が通れない。ほとりの木ぐらいいは切るなど町が管理するべき。そしてこの道は大きい車が来ると、かわすことができない。途中に待避

所を何力か考えてもらいたい。運動公園に上がる途中の駐車場から北へ500mほど山の中へ道をつければ途中に大きな町有地があり、そこを利用することができ。将来的に考える余裕があるか。

農林建設課長

町道に生えている雑木等は、道路の状況を確認しながら対応する。

町で緊急対応する場合はあるが、個人所有の土地の雑木等は個人で対応してもらう。

避所設置として、水道施設の大東ポンプ場の南側を一部整備する予定。他は、金額がかからずに、良い場所があれば、考える。

町長

運動公園の道をつくる考えはない。

野球場への道、木の管理を

農林建設課長／所有者で対応を

仁科 英磨 議員



プロポーザル方式で事業を募り、利益を歩合制にしては

町長／利益を上げて運営する方向は考えてない

問

①美しい森全体の利用者数の推移は。

②ビクターセンターおよびキャンプ場の利用率は。
③平成28年度の収支は。
④利用が増えれば、収支は改善するか。
⑤オートキャンプは可能か。

将来も考えて、広げること検討できないか。
④都市部の学校から来てもらうシステムづくりは、検討したか。

⑤地方創生交付金で施設を改善・整備する考えは。
⑥仁科財団で、参加者負担金を取って全国の科学少年を宿泊研修しては。
⑦その他、事業をプロポーザル方式で募り、利益を歩合制にしては。

⑧フロイデの利用状況、利用率、収支状況は。

⑨収入は1割以下。
他に職員の経費や臨時の備品・修繕費もある。使用料は上げられないか。

⑩会員制などで都市部か

ら観客を連れてくるような催し物を民間事業者にやってもらう方法は。

農林建設課 参事 ①年間2〜3千人で、ピークは26年度の3477人。28年度は2346人。

②それぞれ4・7%、3・7%。
③収入30万円、支出514万円で、差引き480万円余りの持出し。

他に松くい虫で、毎年空中散布320万円、伐倒駆除100万円と、4年毎に樹幹注入300万円がかかる。

②シルバーに1晩7000円で管理委託するので、宿泊は4人以上、キャンプなら5サイト以上の利用でないと、利益にならない。

③十分な広さがなく、他の利用との混在は、安全面で問題がある。今のところできない。

⑦考えていない。歩合制にすると人が集まるかは、検討する。

教委事務局長

④県内には、多くの宿泊研修施設がある。

施設の規模等からも、宿泊研修は不可能。

⑧平成28年度は、大ホールは17日、4・7%、中ホールは38日、10・6%

の利用。

収入250万円、支出2780万円。

⑨変更する考えはない。⑩今判断できない。

教育長

④現実難しい。⑥考えていない。

人命尊重のため信号が必要

農林建設課長／滞留が多くなり、危険

問

①①229号線つばきの丘公園

南の交差点

①事故の件数等は。

②南側に踏切があるので信号はつけないと言うが、踏切は前に1台分余地があつて初めて入る。

通行が少ない時は信号は点滅にすればよい。

2号線が渋滞するなら南からは進入禁止にする。

事故にあつた人も、人命尊重のため信号が必要と強く言っている。

②229号役場下交差点

副町長

⑤財政だけでなく、人的なこと等も考えると、困難。

町長

⑦利益を上げて運営する方向は考えてない。

農林建設課長

①平成26年1月〜29年7月まで物損4件、人身1件。出会い頭の事故が多い。

②信号をつけると滞留が多くなり、危険。

2号線からの進入禁止は、道路ネットワークとして、考えられない。

注意喚起のための路面標示等で事故を防ぎたい。

②①物損2件、人身ゼロ。②考えたい。

③新たな用地取得や横断歩道橋の移設等。

④1・5m程度の右折レーンを考えているが、まだ協議はしていない。

⑤県が整備方針を検討しており、町も、必要な協力はぜひ行っていきたい。

JASTAND跡地

マコモのために使うのか

農林建設課参事／販売生産拠点として必要

問

① JASTAND跡地は放置されている状態。今後マコモのために使うのか。

改装費用はどかが負担し、家賃は今払っているのか。

② 年間48万円の賃料を払う以上、ある程度の売り上げが必要だと思う。

費用対効果についてどう考えているのか。

③ 生産者の話では、収穫するまで水やデータの管理や手入れを十分しなければ、何年も続けることはできない、ということ。町のマコモ事業を進める本気度は。

いしている。

改装費150万、電気工事の整備約40万円を町が支出した。

販売、生産拠点として必要と考えている。

③ 里庄イコールマコモタケを広く全国に知ってもらいたい思いの中で、町としても一生懸命取り組む。

町長

② 賃料、売買できるかそこまで計算していない。

町の特産品とするため、本来は国の補助でやるつもりだったが、それがあたらないうことで一般財源を充てた。

農林建設課参事 ① 毎月2万円の賃貸料は、支払

手の際交差点の改良は

農林建設課長／県と相談していく



佐藤 耕三 議員

問

① 手の際の交差点の改良はできないか。

② 子どもたちは小学校前の狭い道を通学しているが、町道716号線の完成時期は。

農林建設課長 ① 時差式信号は、新規の導入はしない。

矢印式信号は右折レーンがきちつと整備される必要がある。

そういうことも含め、県と相談していく。

② 平成31から32年度を目途に整備完了したいと考えている。

問

① 防災訓練の実施は今後のように取り組むのか。

② 地域で危険箇所を話し合い、マップに記載することで危険箇所を自覚して、災害を免れた自治体もある。

里庄町では、防災マップ策定に関し、町民の意見を取り入れているのか。

③ 命を守るための取り組みはどうするのか。

命を守るための取り組みは

総務課長／地域で考えてもらうよう支援していく

総務課長 ① 年に1回、地域を決めて実施しようとして考えている。

自主防災組織も進んでいるので、年に1回地域で訓練ができるよう町も支援できればと思う。

② 防災マップは国や県が示した危険箇所や、町が指定した避難場所などの情報を掲載している。

自主防災組織で意見を集約して、防災マップづくりを進めている地域もある。

③ 地域での備えも進めていかなければならない。自主防災組織を全地区で作ってもらい、地域でどうしたら命が守れるのかを考えてもらうよう、町も支援していくのが今の使命と考える。

仁科千鶴子
議員



つばきの丘運動公園、柵がなく危険

農林建設課長／看板を設置する

問

公園は、子どもから高齢者の人まで安心して集まり、地域の情報・ふれあいの場として重要な場所。

① 町内にいくつあるか。
② 管理・委託内容は、

③ 点検・剪定等計画をたてているのか。

④ トイレの衛生管理・バリアフリーにするつもりはないか。

つばきの丘運動公園は、緑豊かな自然を生かし、誰もがスポーツに親しみ、交流を深めることのできる場所。

⑤ ベンチ・日よけを増やす予定は。

⑥ グランドの南急斜面の柵が何メートルか切れている。危険だが、理由があるのか。

⑦ 管理棟にクーラーをつける予定はないのか。

教委事務局長

① 37カ所。

② 除草・低木類

の刈り込み剪定など比較的軽微で安全に作業できることは、各地域に協力

してもらっている。高所作業・法面の除草は、要望を受け、シルバー人材センターに依頼する。

遊具やベンチ類は、日常点検資格者が簡易点検をする。

フェンス・ネット類の破損等は現地に出向き対応する。

③ 現状は、具体的な年間計画はない。今後、優先順位をつけながら、実施していく。

④ トイレ設置は4カ所。地域の人・外部委託・スポーツ団体が、協力して清掃作業している。

改修する際、バリアフリーにしたい。

農林建設課長

⑤ 増設は考えていない。

⑥ 柵の設置は、考えていないが、看板を設置する。状況をもう一度よく確認し考える。

⑦ 管理人・よく利用している人の意見を聞き、考えたい。

資源ごみのリサイクルを

町民課長／

展示スペースが

できれば検討する

問

① 燃える系粗大ごみ家具類は十分利用できるものがある。リサイクルはしていないのか。

か等の見極めが、専門の知識を持つ者でないと難しい。展示場所がないことから、取扱いは難しい。

④ ストックヤードを設置。

② 他の施設では、販売・譲渡している。

③ 考えていないのか。

④ エコの何に力を入れ、取り組んでいるのか。

町民課長

① 状態が良いものがあっても、リサイクル品として販売・譲渡していない。

② すぐに対応することは難しい。展示スペースの問題が解決できれば、先進市町の事例を研究しながら実施について検討したい。

③ 発火などの危険がない



柵がない…より一層安全を！

資源ごみの収集回数を増やすことにより、可燃ごみ・不燃ごみを減らし、資源ごみに回す取り組みをしている。

家庭ごみ10%の削減については、もう一歩踏み込んだ施策が必要。生ごみの減量化等、審議会で相談しながら取り組んでいく。

皆さんに支えられて

堂迫子供会

堂迫子供会は、小学1年生から6年生までを対象とし、現在7世帯11人で活動しています。

夏には地域の方々と公会堂等を使用し納涼会を行っています。バーベキュー、ビンゴゲーム、スイカ割り、花火大会などをして毎年楽しんでます。

秋には地域の方々にご協力いただいて御神輿を準備し飾り付け秋祭りをを行います。あいにく今年はお天気に恵まれず午前中はなんとか全員で回れたのですが、午後から行われる神社でのお相撲は雨天の為、中止になってしまいました。

しかしながら、お昼には婦人会の方々が美味しいおでんやカレー、おにぎりを振る舞って下さり、

みんなで美味しくいただきました。午後からは、高学年のみで傘をさして地域を回っていると「雨の中ご苦労様。頑張つてね。」と地域の方々が温かい声をかけて下さり、とても心が温まりました。本当に有難うございました。

年々、子どもが少なくなっていますが、みなさんに支えられて子供会が活動できている事を心より感謝申し上げます。

今後も資源回収や安全パトロールなどご協力いただけるととても助かります。どうぞ宜しくお願いいたします。



《第90号》

平成29年10月31日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.lg.jp

●あとかぎ

今年も残りが少なくなりました。本年最後の議会だよりです。皆様にわかり易く、読み易い編集へと頑張りました。今後も、ご意見・ご相談・ご感想がありましたら、議会事務局までお寄せ下さい。

(小野)

編集委員

委員長: 眞野博文 副委員長: 仁科千鶴子 委員: 小野光章 委員: 佐藤耕三

